第 50 回インナーゼミナール大会

# 研究計画書

| ゼミ名 | 石田ゼミⅡB | チーム名 | おむすびを救う会 |
|---|---|---|---|
| タイトル | 無くそう食品ロス | | |
| テーマ群 | e)産業・企業　g）その他 | | |
| メンバー | [illegible] | | |
| 研究計画内容 | 【背景】<br>最近、食品ロスを風刺したコマーシャルをテレビで目にした。内容は「日本では、一日につき一人当たりおにぎり一つ分の量が廃棄されている」というものだ。実際、私たちのチームに飲食店やコンビニエンスストアでアルバイトをしているメンバーがいる。その際、お客様の食べ残しや売れ残り商品を廃棄することも多いので、この問題の解決に取りくむことになった。以上を踏まえ、食品ロスを減らせる提案を行おうと考えた為である。<br>【研究内容】<br>食品ロスを減少させるために、私たちのチームは企業と家庭の立場の双方向から、この問題を解決する下記の案の効果について詳細に分析し、有効なプランのミックスを提案する。まず家庭側では、SNS や専用アプリを介して、廃棄寸前のセール情報をアプリケーションによりいち早く入手できるようにする。ウーバーイーツなどの宅配サービスを用いた宅配サービスを作る。そのほか、IOT を導入された専用の冷蔵庫を使うことで、家計に存在する食品の量を逐一、管理できるシステムを確立する。<br>また企業側は、廃棄ロスを減らす為に、IOT 製品の開発・販売を行う。専用アプリケーションの開発やアプリケーションで発信する情報を店舗からスムーズに共有・伝達する連携を強化することを行う。<br>【目標】<br>このアプリケーションのニーズや食品廃棄の現状を SNS や知り合いを通じて調べ、この研究の有効性を示す。<br>神戸市のコンビニエンスストアを対象とし食品ロスの量を調べる、そうすることで減少させる対象を明確にする。<br>食品廃棄を減少させることで、結果的に日本で捨てられるおにぎりが私たちの研究で減少することを証明する。 | | |